



三ヶ尻隆雄議員

定住促進

# プロジェクトチームの創設 必要に応じて委員会を再開

**質問** 本町の人口は2万人を切り、民間による10年後の人口予測は1万7000人台まで減少するといわれている。人口減少を阻止するため、新たな取り組みを展開するプロジェクトチームを創設してはどうか。

本町にI・Uターンで定住した人が何世帯・何人いるか。また、定住者に対する優遇措置は。

供など、町のホームページに掲載している。ふるさと山田同郷の会の皆さまにPRするとともに県の移住促進策の展開に併せ、県東京事務所やいわて銀河プラザと連携して田舎暮らしを望む都市住民に情報提供している。プロジェクトチームについては、必要に応じて委員会を再開したい。

定住促進で移住された人は3人であるが、窓口において転入者の転入理由などはチェックしていないため、何世帯・何人という把握はしていない。定住者に対する優遇措置は特に設けていない。

## 産業振興

# 定額給付金と併せ思い切った政策を 地域消費活性化のため検討

**質問** 産業振興について次の2点を問う。

① 定額給付金給付のタイミングに併せ、思い切った政策を打っては。

② 中心市街地新規出店者経営支援事業の内容は。

**沼崎町長**

① 定額給付金の給付に併せて、全国の商工関係団体がプレミアム付き商品券の発行を検討し、自治体が支援する動きがあることは承知している。本町

も、地域消費の活性化を図るため、関係団体と打ち合わせしており、詳細は今後検討していく。

② 商工会が、中心市街地にぎわいを促進するため、現在未利用の店舗を賃借する新規出店者に対し、開業時の初期投資の緩和と経営支援を図るものである。町では、5万円を限度として月額賃借料の2分の1相当の額を12カ月間支援する。

## 町の考えを聞く



定額給付金事務室が設置されました（役場3階）